

国分寺市にふるさとをつくる会

257号 令和5年8月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 岡本 浜夫

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 3-7-8

TEL: 090-6937-8070 fax: 042-325-7616

E-mail: hatamatu@mint.ocn.ne.jp

東京都品川区、東京都親子自然体験・学習イベントを支援！

国分寺市にふるさとをつくる会は、東京都品川区、東京都環境局のイベントを、「姿見の池緑の会」と協働で、姿見の池緑地保全地域で、作業体験、植物観察、クラフト作りを実施いたします。

※指導は、NEAL 自然体験指導者及びスタッフがを行います。

品川区親子自然体験学習“東京の里山へ出かけよう”

日時：令和5年8月5日(土)9:30～

対象者：小学生とその保護者

内容：①植物観察(保全地域の植物)
②セミの観察・学習
③竹の学習と竹水鉄砲づくり



東京都「里山へGO!」親子イベント

日時：令和5年8月26日(土)9:30～

対象者：親子(原則)

内容：①下草刈り作業
②セミの観察・学習
③竹の学習と竹水鉄砲づくり



エックス山に集合「7月森の自然塾」

森の自然塾担当 長谷慎太郎・冨村隆子

猛暑の中、「森の自然塾」が始まりました。エックス山(西恋ヶ窪緑地)、かつては西側にも広がっていて、その中を通る小道がX状に交差していたから「エックス山」と呼ばれる様になったとの事です。本日の「森の自然塾」は猛暑の中、参加児童35名、保護者22名、スタッフ13名、総員70名。

プログラムA「変わった名前・おもしろい植物探し(動物や鳥の名前がついたもの)・(イヌがつくもの)・(オニがつくもの)・(ひめがつくもの)」子供達も「サルのコシカケ」・「ヘクソカズラ」・「ネコジャラシ」とか面白い名前の植物に興味津々でした。

プログラムB「竹水鉄砲で遊ぼう」です。

竹と笹の違いの説明

・エックス山には竹はありませんが、2種類のササがあります。「クマザサ」と「アズマネザサ」です。アズマネザサは関西方面ではネザサと言われていますが関東ではアズマネザサと呼ばれています。

・竹はタケノコの皮が大きくなるにつれ次々と落ちていくが、ササは皮がいつまでも残っている)

竹が及ぼす害、等についての説明。

★チコちゃんが「竹の節」について言っていましたね。早く大きくなしないと動物に食べられてしまうから!。・ねー岡村!と。



<令和5年> 8月行事予定

5日(土) 品川区“親子イベント“

7日(月) 防災推進の街づくり仲間の会
井戸端会議 9:30 室内プール前井戸

9日(水) 森の自然塾運営会議
9:30 恋ヶ窪公民館

12日(土)ふるさとをつくる会合同幹部会議
14:00～ 恋ヶ窪公民館

19日(土) 日吉町町内会定例会
13:30 日吉フードセンター

20日(日) 森の自然塾
9:20 エックス山中央集合

20日(日) 環境ひろば
10:00 国分寺市役所

26日(土) 東京都里山へGO!

27日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館

27日(日) 姿見の池ホテルの会
作業: 9:30 姿見の池

会議: 13:30 恋ヶ窪公民館
30日(水) 多摩の自然を楽しく学ぶ会
葛飾区「水元公園」

9:30 常磐線 金町駅

31日(木) 会報配布準備(含む印刷)
13:30 恋ヶ窪公民館

31日(木) 多摩に歩く会会議(会報配布準備終了後) 14:15 恋ヶ窪公民館

8月「森の自然塾」のご案内

野沢森生

8月20日(日)実施



A 「セミの生態とその一生」

B 「セミのぬけがら探し」

夏はセミの季節です。

「森の自然塾」では毎年恒例で特別講師をお招きしてセミの抜け殻調査などを行っています。

A 「セミの一生」について紙芝居でお話、そのあとに実物見本を使って「セミのぬけがらの見分け方」などの説明があり

B でエックス山の毎年調査を行っているエリアでの「ぬけがら探し」をみんなで行います。

昨年はアブラゼミなど4種類で700個近くのぬけがらが見つかりました。今年はいくつ見つかるでしょう。

セミは身近なものですが、幼虫として地中で何年もかけて成長、地上で羽化してからはとても短い命で、まだまだ謎が多い生き物のようです。

防犯パトロール 1,700 回達成意見交換会開催!!

会長 鹿島 義之

防犯パトロールは、新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言実施により、60 回中止して、17 年 6 カ月かかりました。意見交換会を無事開催できたのは会員のがんばりがあったからです。私たちの休みは、正月の 10 日のみで、防犯パトロールは激しい雨でも、冬の寒い日・夏の猛暑日でもやりました。

防犯パトロール 1,700 回の歩みを、笠井監査委員長から資料で経緯・日時・巡回経路・人員・空巣発生件数・継続して出来た理由・問題点と対策について、分かり易く説明しました。

今回の来賓は行政・民生委員・地域包括支援センターひよし等、提携先に拡大し前回より 3 名多くなりました。防犯パトロールは犯罪を未然に防止するための活動です。私たちはそのため小金井警察署が発行する防犯啓発チラシを、年 6 回配布しています。目的は地域の防犯意識の向上を図るためです。またパトロール中に得た空き家情報を国分寺市まちづくり課に提供、犯罪発生の抑止活動も行っています。そして今回のテーマである安全・安心の街づくりとして毎回防犯パトロール 3 コース維持のため参加人員 1,000 人を目標としました。そして身近な問題として会員の交流を図り、健康寿命を延ばし認知症の予防と人とのつながりにより、孤独や孤立を少なくしたいと思いました。

最後に来賓から共通の悩みである高齢者問題や高齢者のお話を聞いて、お互い協力することが大切と思いました。交換会として開催して良かったと思います。次回は 2,000 回を予定しています。

防犯パトロール参加の皆様、本当にご苦労様です。



ご来賓の皆様



笠井監査委員長から詳細説明

姿見の池をホタルの鑑賞できる池に!

姿見の池ホタルの会副代表 下山敏昭



最初、ホタルを市民の皆さんに見せる事を目的にかごの中にホタルを入れて、池の近くに展示することから始まりました。その後、関係者が自宅で経験者のアドバイスを受け、見よう見まねでホタルの育成を試み、何匹かの成長した幼虫を池の入口水路に作った放流かごに入れ水辺の草の上に光り飛ぶホタルを確認しました。

ホタルは産卵直後からしばらくして、1-3mm程度の幼虫となり、タニシ(餌)を与え水の定期的取り換え、水温調整、空気供給することにより、翌年の春には一部の幼虫は大きく成長します。それを上陸装置(赤玉土、ピートモス、粗朶、ミズゴケなどを入れて、幼虫を上陸させて、土の中で蛹生成。約3-4週間後に、羽化し、光り飛ぶ)に移す。光り飛ぶ成虫を産卵かごに移し、交尾産卵させます。現在池において

易上陸装置のようなものを作り、そこに成長した幼虫が近くの地面にのぼり蛹となり、成虫化して、光り飛ぶことまで行っています。

ホタルの育成は当初考えていたより、はるかに多くの要因が影響しているのがわかってきました。水の状態、土の状態、水辺の植生、タニシの育成、気象の状態(特に温暖化により変化して、毎年、前年の経験から予測ができない)、幼虫/タニシへの攻撃生物の存在など。

池入口水路上陸装置へ放流した幼虫の成虫化、2020年以降の実績は、:2020年/放流300匹。成虫化34匹:2021年/放流193匹。成虫化40匹 :2022年/放流260匹。成虫化28匹:2023年は水位の放流後の上昇、温暖化などの影響によりかなり少ないと予想される。

日本には50種以上のホタルがいて、特にゲンジ、ヘイケが有名です、比較的育成しやすいとの情報に基づき、ヘイケホタルを採用しましたが、新しい姿見の池で育成するには、まだまだ解決しなければならない問題が多くあります。会員の皆さんと、1つ1つ考え、目標へ進みたいです。

環境保全に配慮し、人に、社会に、地球に優しい製品及びサービスを提供します

リオン株式会社
<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します
 自然環境保護に賛同
 賛助会員 TEL 042-321-5441
 国分寺市日吉町4丁目13番2
中央システム技研(株)
 代表取締役 川野 誠
 (長野県下伊那郡出身)

私たちは木を森を自然を大切にしています。
 Environment Conscious
 R&D for the Future

企業紹介はこちら
 (株)日立製作所
 中央研究所 →

HITACHI
 Inspire the Next

ホームページ
 国分寺市に
 ふるさどをつくる会
 QRコード